

備前市施策評価シート

(平成20年度事業)

施策名 (小項目)	工業	コード	作成者	役職	商工観光課長
		04-02-03		氏名	横山雅一
				電話	64-1832 内線271

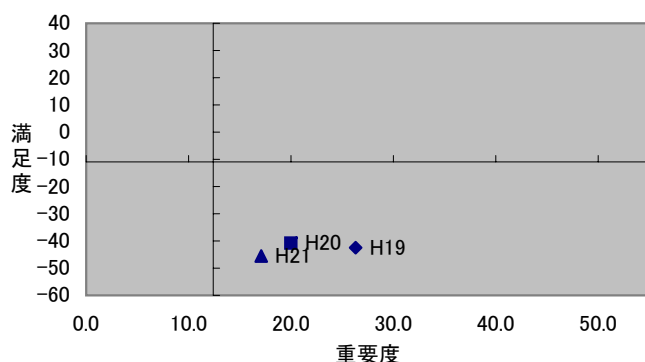
備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり
	中項目(基本施策)	起業と創造が支えるまちづくり

① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	本市の主要地場産業である耐火物関係事業所や、中小企業に対し、高度な技術の振興対策や中小企業への金融対策を支援し、安定経営を支援することを目的とする。
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	本市の工業の中心は耐火煉瓦製造業で、その生産量は全国総生産の3割を占めており、原料粉碎などの関連業種を含めると、まさしく本市の基幹産業として地域経済を支えてきた。しかし、昭和50年代に入ってから耐火物産業全般が構造不況に陥り、官民挙げて製品の高品質化・多角化に取り組んでいる。本市における企業の集積度は高く、可住地に占める工業用地の割合も高くなっている。今後は未利用地の有効利用、生産基盤の整備に努めるとともに、中小企業の体質改善に重点を置いた工業の健全な発展を図る必要がある。また、情報インフラ先進県としての有利性を生かし、企業を支える体制を作る必要がある。
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①既存企業の拡張</li> <li>②適応業種の育成</li> <li>③起業の支援</li> <li>④中小企業の育成</li> <li>⑤特定業種への支援</li> </ul>

④ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21	H22
重要度(%)	26.3	20.0	17.1	
満足度(%)	-42.5	-40.8	-45.5	



高 ↑ 満足 度 ↓ 低	<p>&lt;見直し領域&gt; その施策や事業が必要か否かの検討が必要</p> <p>&lt;維持領域&gt; 現状の方向を継続</p>	平均	<p>&lt;検討領域&gt; その施策や事業の存続の検討が必要</p> <p>&lt;強化領域&gt; 改善等を見直し、市民満足度を高める事業を行う</p>
	重要度 ← 低 → 高		

調査結果に対するコメント、市民の反応等	工業に対する重要度は高く、満足度は非常に低い。工業に対する市民からの直接要望は少ないが、アンケート結果を真摯に受け止め、継続して努力を要する施策であると思う。
調査対象でない施策は、市民の反応等は	

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度	成果指標・計算式・ベンチマークの説明	目標値	
		H18	H19	H20		H21	H22
成果指標 岡山セラミックスセンターにおける検査件数	目標	件	10,000	10,000	10,000	H21	10,000
	実績	件	8,532	10,301	9,479	H23	10,000
	達成率	%	85.3	103.0	94.8	H28	10,000
	ベンチマーク					-	-
参考指標① 備前市全体の出荷額	目標	万円	167,767	231,141	247,639	H21	250,000
	実績	万円	231,141	247,639	285,912	H23	250,000
	達成率	%	137.8	107.1	115.5	H28	250,000
	ベンチマーク					-	-
参考指標② 備前市全体の従業員数	目標	人	5,431	6,441	6,842	H21	7,000
	実績	人	6,441	6,842	7,140	H23	7,000
	達成率	%	118.6	106.2	104.4	H28	7,000
	ベンチマーク					-	-
参考指標③ 商工振興融資件数	目標	件	180	180	180	H21	180
	実績	件	182	172	149	H23	180
	達成率	%	101.1	95.6	82.8	H28	180
	ベンチマーク					-	-

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									施策への 貢献度 ☆☆☆☆☆ ~ ☆	経費の 性質 義務的 計画事業 その他	平成21年度 5月補正後 予算額 ※一財ベース
				平成18年度			平成19年度			平成20年度					
				直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数			
1		既存企業拡張事業	単市	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00		その他	0
2	C	岡山セラミックスセンター補助事業	単市	7,267	501	0.05	6,338	93	0.01	4,754	107	0.01	☆☆☆☆☆	その他	4,279
3		起業家支援事業	単市	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00		その他	0
4	B	商工振興融資斡旋事業	単市	3,320			4,702	673	0.08	3,844	814	0.09	☆☆☆☆	その他	3,405
		中小企業信用保険法関係事務	単市	0	2,957	0.39	0	0	0.00	0	756	0.13	☆☆☆	その他	0
5		中小企業災害融資利子補給事業	単市	1,006			757	114	0.02	476	58	0.01	☆☆☆	その他	182
		地域産業集積活性化推進補助事業	単市	655	501		廃止							H19終了	0
6		和室地区集積活性化地域関係市町村連絡協議会負担金	単市	廃止										H18終了	0
		地域環境整備事業	単市	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00		その他	0
7		計量器検査事務	法定	0			0	0	0.00	0	0	0.00	☆☆	その他	0
		火薬類取扱い事務	法定	0	2,105	0.24	0	0	0.00	0	0	0.00	☆☆	その他	0
		地下資源関係事務	法定	0			0	0	0.00	0	0	0.00	☆☆	その他	0
この施策に費やした資源(単位:千円,人)				平成18年度			平成19年度			平成20年度					計
				12,248	6,064	0.68	11,797	880	0.11	9,074	1,735	0.24			7,866

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
岡山県	岡山セラミックスセンター運営事業	岡山セラミックスセンター運営全般
備前市	商業団体運営事業	商工会議所、商工会との協働
備前市	企業誘致奨励金事業	事業拡張の際、市内操業を支援する
国	セーフティネット認定事業	金融機関の融資の円滑化を支援する

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 役割分担の妥当性 (市の関与、協働の可能性)	4	OCCは検査機関、研究開発機関として地場産業の発展に大きく貢献しているため市の関与は妥当である。融資は、金融の円滑化、合理化を図るため妥当である。	3	耐火煉瓦は本市の基幹産業であり、官民上げて高品質化、多角化に取り組む必要があり、市の関与は妥当である。
2 事業構成の妥当性 (実施手段)	3	融資制度は妥当と思うが、企業の体質改善等に重点を置いた施策を展開することが必要と考える。	3	商業と工業双方が関連した事務を一体化できないか。
3 施策の有効性 (指標分析、評価年度・中長期の達成度)	3	成果指標における達成度は年々増加しているが、中・長期目標の達成は不安を感じる。商工振興融資件数の指標は見直す必要あり。	3	企業業績によるところが大きいですが、世界的不況により現時点では達成は困難と考える。
担当への指示 (今後の展開、事業見直し、新規事業創出等)	融資制度の申請に対して、早急な対応をすること。商工会議所、商工会との連携を密にすること。		世界的経済不況による影響が、備前市の企業ではどの程度あるのか引き続き商工会議所、商工会と連絡を密にし、情報の収集を行うこと。	
二次評価者コメント 役職 産業部長 氏名 玉垣 和志	◇既存企業を大切に、事業拡張の際は市内で操業が可となるよう支援を行なうなど、企業を支える体制作りを行う必要がある。 ◇中小企業からセーフティネットの申請があった場合、今後も認定事務をスムーズに行い、金融機関からの融資の円滑化を図ること。		基本施策への貢献度	翌年度予算の方向性
		3中立	平均的な配分	